

コンテンツ URL : <https://storymaps.arcgis.com/stories/c20cbdc291974785afab1a6d32065f8a>

問1 ア・イが示す自然災害は「地震・火山など」によるものか、「大雨・暴風雨など」によるものか、地図A～Cを参考にして考えてみよう。

ア		イ	
---	--	---	--

問2 大きな自然災害が発生した地域について述べた、次のア～ウの文のうち、適切なものを地図DとEを参考にして選ぼう。

- ア 人口密度が高くても、GNIが低い地域は自然災害が比較的少なくなっている。
- イ 風水害が頻繁に発生している地域は、人口密度が高く、GNIが低い地域であることが多い。
- ウ 高緯度地域で自然災害が少ないのは、GNIが高く、インフラが整備されているからである。

問3 自然災害の大きさに影響を与える要素には「ハザード」「脆弱性」「曝露」の三つがある。これまで見てきた地図A～Dは「ハザード」「脆弱性」「曝露」のいずれにあたるか、以下の説明文を見て答えよう。

- ハザード** 人間生活の脅威となりうる自然現象やその大きさ
- 脆弱性** 災害に対する損害の生じやすさや対応能力の低さ
- 曝露** 人々の命や財産がハザードにさらされている程度

地図A		地図B		地図C	
地図D		地図E			

問4 災害リスクは「ハザード」「脆弱性」「曝露」の三つの重なりが大きくなるほど高くなる。あなたの住んでいる場所の災害リスクについて、下のような文にまとめてみよう。

私の住んでいる地域では、「①」といった自然災害が発生する可能性がある。現時点で「②」に課題があるため、災害リスクが高まる可能性がある。

①		②	
---	--	---	--